

量子科学技術研究開発機構被ばく医療共同研究施設 改修対策【文部科学省】

施策概要

防災上の観点から、放射線管理区域の負圧維持機能・閉じ込め機能喪失による放射性物質の漏洩リスクが懸念される被ばく医療共同研究施設の改修を実施

効果

施設の改修等により、施設設備の故障や機能停止による火災発生、放射性物質の漏洩・拡散につながるリスクを回避



国立研究開発法人
量子科学技術研究開発機構
(QST)



千葉県千葉市



被ばく医療共同研究施設
の改修

全国的な対策と効果

対策

老朽化対策として、焼却設備の耐火煉瓦の脱落防止壁の設置や放射性物質を取り扱う設備の撤去等を実施

焼却炉内耐火煉瓦の張出しによる崩壊の危険

焼却炉内に耐火煉瓦脱落防止壁を設置



放射性物質を取り扱う施設設備の故障
放射性物質の漏洩リスクが懸念される

放射性物質を取り扱う施設設備を安全に
撤去し、漏洩のおそれを回避



5か年加速化対策の効果



- 施設の改修等により、施設老朽化や施設設備の故障等による火災発生、放射性物質の漏洩・拡散につながるリスクを回避し、安全性を確保
- 同改修により放射線管理区域内のスペースが拡張され、災害発生時の被ばく事故対応等で生じる放射性廃棄物を保管する施設として活用（保管容量も増加）

予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
0.5億円	0.9億円	-
R6	R7	累計
-	-	1億円

目標達成の見通し

